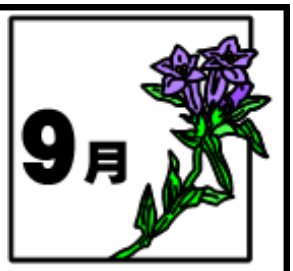
大分市立明治幼稚園 No. 5

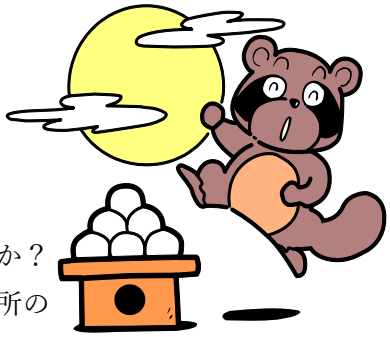
園長だより

令和８年　９月 28 日

園長　郡田正明



「みいげつ、ちょうだい！」



今年の十五夜（中秋の名月）は、９月 25 日でした。調べたところ十五夜は、もとは農作物の収穫祭の一種だったそうです。サトイモをお供えする十五夜は芋名月、豆やクリを供える十三夜は豆名月という異名もあるとのことです。名月をめでる風習も今は廃れつつありますが、たまには、お月見もいかがでしょうか？

私がこどもの頃のことですが、自分が住んでいた地域では中秋の名月の夜に近所のこども同士で「みいげつ、ちょうだい！」と言いながら、家々を回ってお菓子をもらっていました。幼いころは蒸かしたさつまいもだったことを覚えています。それがいつの間にか飴玉やお菓子になり、スナック菓子に変わっていました。当時は意味も理由も分からないままでしたが、お菓子などを多く貰えた時はとてもいい気持ちになっていたものでした。とにかく日本の風習として「中秋の名月を観賞し、お祝いをする行事」というものがあります。「みいげつ」は「名月（めいげつ）」が変化した呼び方とも言われています。十五夜の日は、こどもたちは供え物や畑にあるものを勝手にとって食べてよいとされていたといわれています。こどもたちに盗まれたほうが縁起がよいとされ、お供えものを盗んで食べたこどもは長者になるという言われがあり、これは、お供えものがなくなることにより、願いが叶ったり、神さまにお供えしたものを多くの人で分け合って食べたほうが神の恩恵を受けられるという考えに基づいたものだそうです。収穫の喜びをみんなで分かち合い、祝うという意味もあったようです。今は考えられませんが、豊作物の収穫とこどもの成長は大切にされていたんだなあと感じます。地域のお祭りや行事、大小を問わず子どもたちに何らかの関わり合いの場をつくってあげることも大切なことだと思います。



長かった夏休みも終わり元気いっぱいのこどもたちの笑顔と歓声が幼稚園に戻ってきました。生活のリズムや園生活の様子も１学期の比べ、スムーズにスタートできたといえる９月です。ただし、２学期はこれからもたくさんの行事があります。こどもたちの体調管理を含め、保護者の皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いします。

シェイクアウト訓練をしました。





志水さんが来て、じゃがいもを植えました。







慶光保育園との交流

慶光保育園の５歳児が明治幼稚園に来て交流しました。

バルーンやフラフープで楽しく遊んでいます。







